

まえがき

彦根市長 和田裕行

彦根市および彦根市教育委員会では、子どもたちが文化芸術活動を通して自己表現できる機会を提供するとともに、豊かな心と感性を育て、将来の文化芸術活動の後継者を育てることを目的に、平成二十二年度から『ひこね子ども文化芸術奨励事業』を実施しております。

今年度もこの事業の一環として、子どもたちの豊かな表現力(考える力・書く力・伝える力)を育むため、「ひこね子ども文芸作品」を募集し、俳句、川柳、短歌、詩の4部門に、延べ四、〇四九人の子どもたちから、六、五九〇点もの作品が寄せられました。たくさんの方にご応募いただき、本当にありがとうございます。

皆さんから応募いただいた作品を拝見していますと、生活の中で感じた出来事等を言葉にされる中で、自由なもの見方や捉え方をされていることに、大変興味を持ちました。

多くの言葉に触れ、使うことで表現力が一層高まります。言葉や表現を学ぶことは、自身の成長につながる重要な一歩です。この入選集には、多くの方々の気づきや経験が、様々な形で表現されています。他の人がどのように物事を感じ取り、考えているのかを学ぶ絶好の教材になることでしよう。この入選集を通して、表現や考え方の幅をさらに広げてもらいたいです。これからも、皆さんの作品を楽しみにしています。

最後になりましたが、彦根文芸協会の皆様には、作品の審査をはじめ、「夏休み文芸ワークショップ」の各部門の講師等、将来の彦根の文芸シーンを担っていただく人材育成のために、多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

これからも、明日の彦根を担う子どもたちの健やかな成長を、温かな目で見守っていただきますよう、関係各位の皆様にお願い申し上げ、発刊に寄せる言葉とさせていただきます。

令和六年 三月